

次期愛知県スポーツ推進計画（仮称）骨子案に対する御意見及び県の考え方

【パブリック・コメント】

番号	該当部分	御意見の概要	本県の考え方（案）
1	基本施策の体系 I 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出	高齢世代の方で、元プロのシルバースポーツマンやアマチュアでキャリアのある方などが組織を作り、若い世代と一緒に幅広くスポーツを行うことや、教室を作って学んでもらうことといった、高齢世代と若い世代とが一つの目標に向かって何かを達成して学んでもらうような取組が、スポーツ推進に向けては必要なのではないかと。	スポーツを通じた多世代交流はスポーツが果たす役割の一つであり、多世代・多目的・多志向を特徴とする総合型地域スポーツクラブの活動支援について次期計画に盛り込み、交流を促進してまいりたいと考えております。 また、元プロやアマチュアのキャリアのある高齢世代の方の経験や技術を若い世代に還元していくことも重要であり、地域スポーツの振興に効果的であるものと認識しております。そのため、総合型地域スポーツクラブや学校部活動の指導員など、様々な形で能力・意欲を活かすことができるよう、取り組んでまいります。
2	基本施策の体系 I 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出	スポーツに触れる機会が少ない障害のある人は、学校を卒業すると日常生活を送る場で体を動かす機会は極端に減少する。そのため、気軽に体を動かす運動の普及が、障害のある人の健康づくりの点からも必要と考える。また、市町村の福祉担当課に「気軽に体を動かす運動の手引き」を置いたり、愛知県の福祉ガイドブックに掲載するなど、福祉行政と一体となった取組も重要ではないかと。	御指摘のとおり、運動・スポーツは健康保持や身体機能の維持の観点からも有効であり、障害者が身近な地域において運動・スポーツに親しんでいただくため、総合型地域スポーツクラブにおけるプログラムの充実や、医療機関等への競技用具の貸与、また障害者スポーツの普及に向けたイベントの開催などを次期計画に盛り込み、取組を進めてまいります。 いただいた御意見を踏まえ、また関係局と適切に連携しながら、引き続き運動・スポーツの実施促進や障害者スポーツの普及に努めてまいります。
3	基本施策の体系 I 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出	障害者スポーツの普及に向け、愛知県のホームページに障害者スポーツのコーナーを設け、ボッチャ、フリスビー、卓球バレーなど「気軽に体を動かす運動」の動画や、ペットボトルを使ったダンベル体操など道具の作り方を含めた動画配信を行うことも必要ではないかと。	いただいた御意見を踏まえ、また関係局と適切に連携しながら、引き続き運動・スポーツの実施促進や障害者スポーツの普及に努めてまいります。
4	基本施策の体系 I 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出	障害者施設職員や障害の運動に興味・関心のある方を対象に、障害者スポーツ指導員養成講習会を複数地域で実施する計画とすべき。	障害者スポーツ指導員の資質向上に向けて取り組むとともに、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブの関係者等を対象とした研修会の実施など、障害者スポーツの指導者確保に向けた取組を進めているところです。 今後の施策については、いただいた御意見も踏まえて検討するとともに、指導者確保に向けた取組の方向性について、次期計画に明記してまいります。
5	基本施策の体系 I 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出	名古屋市スポーツセンターと同様の施設を、県の圏域ごとに交通の便が良い場所に設置することを計画に明記すべき。	いただいた御意見は、今後の施策の参考としてまいります。 なお、特別支援学校の体育施設を学校教育活動に支障のない範囲で活用するなど、既存施設の有効活用の面からも、地域のスポーツ環境の整備に向けた取組を進めており、こうした取組を次期計画に盛り込んでまいります。
6	基本施策の体系 II 子どものスポーツ活動の充実	部活動の地域移行の前に、まずはスポーツ指導ができる正規の教職員を雇用すべき。スポーツ系大学には「健康運動指導士」の資格を取った若者が多くいるが、こういった若者が安定して活躍できる場を創出していくべき。	公立学校教職員の採用については、今後も多様な人材の確保と資質向上に向けて適切に取り組んでまいります。 なお、「健康運動指導士」の資格を持つ若者の活用に関する御意見については、今後の施策の参考としてまいります。
7	基本施策の体系 III トップアスリートの育成、活躍支援	あいちトップアスリートアカデミー（パラアスリート部門）が設けられているが、パラリンピック競技選手、デフリンピック競技選手、競技指導者の養成について愛知県の方針が曖昧ではないか。国際的に活躍する選手を育成する計画はあるのか。	昨年度（2021年度）から、あいちトップアスリートアカデミーにパラアスリート部門を設け、国際大会で活躍するパラアスリートを多数輩出するための取組を進めており、次期計画にもこの取組を盛り込んでまいります。 2026年に開催される第5回アジアパラ競技大会も見据え、パラアスリートの育成や、競技力向上に向けた支援に引き続き取り組んでまいります。
8	基本施策の体系 V スポーツによる地域活性化	「豊橋市新アリーナ」の建設について、豊橋市は市民の賛否を問うべき。アリーナ計画で最も心配しているのは事業収支であるが、赤字運営となった場合は税金で補填するのか。	御意見として参考とさせていただくとともに、関係機関に情報共有させていただきます。
9	基本施策の体系 V スポーツによる地域活性化	「豊橋市新アリーナ」を豊橋公園に建設することに反対している。県民・市民の意見を聞くことが必要なのではないかと。	

次期愛知県スポーツ推進計画（仮称）骨子案に対する御意見及び県の考え方

【市町村、各競技団体】

分類	該当部分	御意見の概要	本県の考え方（案）
市町村 ＜2件＞	基本施策の体系 I 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> 当団体のスポーツプランにおいても、各種教室支援や体験会の実施による機会創出等により、「楽しくスポーツに取り組める機会の提供」を目指している。 県としても、同様の趣旨を方向性とするが、計画において各市町村の取組にゆだねるだけでなく、県としての具体的な取組について明確に記載していただきたい。 	<p>「楽しくスポーツに取り組める機会の提供」に向けた具体的な取組として、次期計画においては、親子で楽しめるスポーツイベントの開催や、県社会福祉協議会等と連携した障害者スポーツ大会・スポーツイベントの開催、各競技団体が開催する障害者スポーツ教室への支援などを位置づけていく予定です。</p> <p>こうした取組を市町村や関係団体と連携して進めることで、県民の皆様のスポーツへの参画を促進してまいります。</p>
	基本施策の体系 II 子どものスポーツ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の地域移行は文化部も含めた議論であり、地域移行後は学校部活動としての位置づけが変わると認識している。「運動部活動」という言葉を使用しているが、県としては地域移行後も「部活動」という理解か。 ※部活動は学習指導要領上の位置づけと理解しているため。 例示されているものは、主なものということだと思われるが、他の施策はあるか。例えば、活動の場所（スポーツ施設）、大会の在り方、費用負担など、部活動の地域移行には多くの課題があると考えるが、これらの施策は考えられているか。 	<p>休日の部活動の地域移行は、2023年度から段階的に進めていくもので、また地域の実情等に応じて移行後の在り方を検討すべきものと考えています。</p> <p>こうした考え方を踏まえ、現時点における整理として、「部活動」と表記しています。</p> <p>また、御理解のとおり、骨子は次期計画における主な取組の方向性を整理したものです。今後、次期計画の策定に向けた検討を進めるにあたり、御指摘のスポーツ施設の充実や、持続的な大会の在り方といった観点も盛り込んでまいります。</p>
競技団体 ＜2件＞	基本施策の体系 III トップアスリートの育成、開催支援	<ul style="list-style-type: none"> トップアスリートの育成については、設備や指導体制など世界基準の環境を整える必要がある。そのために何をするのか。 	<p>「あいちトップアスリートアカデミー」事業により、大学と連携し、また競技団体の御協力をいただきながら、高いスポーツ能力を有する子どもたち等に対して指導を行い、トップアスリートとして国際大会で活躍できるよう支援していく旨を、次期計画に位置付けてまいります。</p> <p>また、県スポーツ協会と連携し、各競技団体における競技力向上に向けた取組を支援していくことも、次期計画に盛り込んでまいります。</p>
	基本施策の体系 IV アジア・アジアパラ競技大会の開催、レガシー創出 V スポーツによる地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> 世界から人を呼び込むためには、世界のトップアスリートを集めた国際大会を開く（観客・関係者として）か、世界中の経験者の多くが参加しやすい大規模大会（参加選手として）を開催するか、端的にはいずれかになる。そのためには受け入れる施設と開催能力が必要になるが、何をするのか。 	<p>2026年に開催するアジア競技大会・アジアパラ競技大会を見据え、アスリートファーストの観点を踏まえて競技会場の整備を進めるとともに、競技運営を担う人材の育成や、大会ボランティアの育成などにより、大会の開催能力を高めるための取組を進める旨を、計画に位置付けてまいります。</p> <p>併せて、アジア競技大会・アジアパラ競技大会において得た開催ノウハウを活かして国際スポーツ大会の誘致につなげることも、両大会のレガシーの一つと考えております。このことについても次期計画に盛り込み、取組を進めてまいります。</p>